平成22年度教職10年目研修
事後アンケート集計結果

平成24年３月

栃木県総合教育センター

１　目的

平成22年度教職10年目研修が終了し一定期間を経過した後に、研修成果を調査・分析することにより、研修内容の充実を図る。

２　対象

平成22年度教職10年目研修（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）の研修教員と勤務校の校長。ただし、宇都宮大学教育学部附属小・中・特別支援学校の研修教員は除く。

〇小学校、中学校　　校長　35名、研修教員　36名

〇高等学校、特別支援学校　　校長　48名、研修教員　75名

３　実施時期

平成23年６月～10月

４　内容

【集計結果の概要】

【アンケート結果　小・中学校】

【アンケート結果　高等学校、特別支援学校】

【資料】

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート　様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート　様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート　様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート　様式Ⅱ（研修教員用）

【集計結果の概要】

はじめに

教職10年目研修は、総合教育センター等における研修と校内等における研修に大別されている。前者には、学習指導、児童・生徒指導、ＨＲ・学級経営等の研修、社会体験等研修、異校種体験研修、選択研修などがあり、後者には、公開授業や教材研究等を通した研修、課題研究、児童・生徒指導の実践研修などが含まれる。

平成22年度教職10年目研修の終了後、一定期間を経過した後の研修教員の学校現場における状況を、本アンケートで調査・分析した結果、以下のことが確認できた。

１　研修教員は、研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上した。

学習指導力、児童・生徒指導力、ＨＲ・学級経営力のいずれも、「かなり向上した」あるいは「ある程度向上した」という回答が、校長、研修教員ともに概ね８割を超えている。その他、「新採教員の教科指導員として、適切な指導・助言を行うことができた」、「学校運営に参画しようとする前向きな意欲の高まりが感じられるようになった」などの内容の回答が見られる。

２　研修終了時の研修教員についての評価を、その後の指導や研修に活用し、効果があった。

研修終了時の評価をその後の指導や研修に、「十分に活用した」あるいは「ある程度活用した」という回答が約９割を占めている。

３　教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対しても効果や影響があった。

教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響が、「かなりあった」あるいは「ある程度あった」という回答が、８割以上であった。効果や影響の内容としては、「公開授業や授業研究会等を通して多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた」、「教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された」などの回答が見られる。

４　教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに研修終了後も自主研修に取り組んでいる。

研修終了後も自主研修に「積極的に取り組んでいる」あるいは「ある程度取り組んでいる」という回答（研修教員）が約８割を占める。自主研修の分野としては学習指導が多く、「研修で作成した資料やもらった資料を活用し、指導に当たっている」、「課題研究で得られた成果や課題をもとに、継続的に検討、改良、実践をしている」などの回答が見られる。

５　平成22年度の校内研修において、有効だった研修

校長、研修教員ともに、「公開授業と授業研究会」、「教科（学習）指導に関する研修」、「児童・生徒指導に関する研修」「課題研究」が有効だったとする回答が多い。校長が特に工夫した点としては、「生徒の実態把握や地域性の理解のために、多くの先輩教員との会話の機会を増やした」、「公開授業や研究授業をできるだけ多くの教員に見学してもらい、学校全体の授業力向上につなげるように努めた」などの回答が見られる。

６　総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立っている。

総合教育センター等における研修に関して、「かなり役立っている」あるいは「ある程度役立っている」という回答（研修教員）が概ね９割に達している。項目別にみると、学習指導に関する研修の項目で「かなり役立っている」とする回答の割合が高い。

７　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等

校長、研修教員ともに、保護者との関わり方に関する研修を希望する回答が多い。また、校長の回答の中には、学校組織マネジメント、リーダーシップの養成に関する研修をあげているものが見られる。研修教員からは、他教科や異校種の教員との更なる交流、通常学級等における特別支援教育に関する研修を希望する回答が多く見られる。今後の研修を企画する際の参考としたい。

おわりに

アンケートから、多くの研修教員が本研修の成果を指導力向上に結びつけているとともに、研修後も意欲的に自主研修に取り組んでいることがうかがえる。また、本研修が、研修教員だけでなく、それぞれの学校の研修教員以外の教員にもよい効果・影響を与えていると言える。

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート集計結果

○　回答総数　　校　長　：３５　（　小学校　１７　　中学校　１８　）
　　研修教員：３６　（　小学校　１７　　中学校　１９　）

１　研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

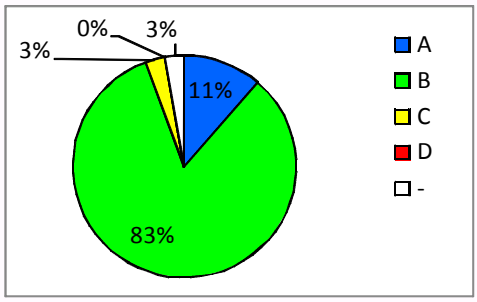
（1）次のア～ウの項目に関する観点ごとに、Ａ～Ｄの当てはまるものを〇で囲んでください。

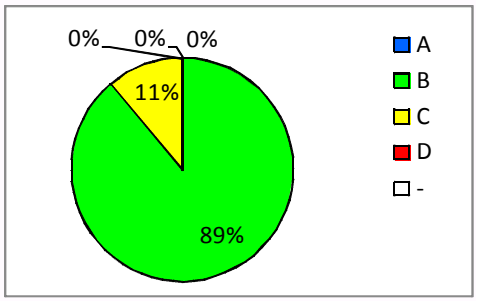
Ａ　かなり向上した　　Ｂ　ある程度向上した　　Ｃ　あまり向上していない　　Ｄ　全く向上していない　　－　無回答

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。

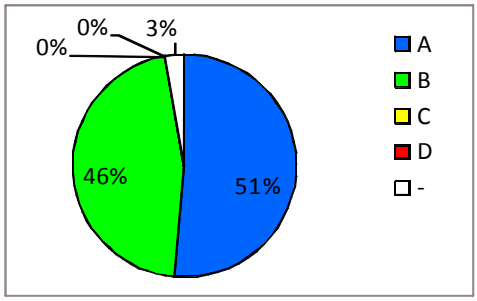
校　長　　研修教員

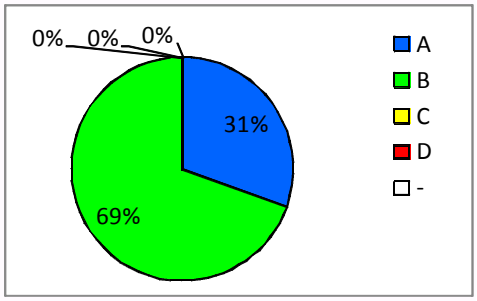
【年間指導計画の立案・実施】



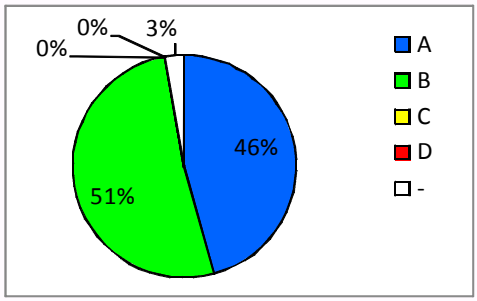


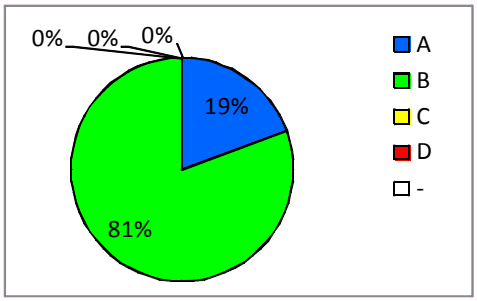
【教材研究】



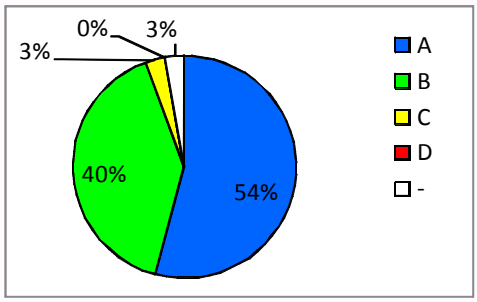


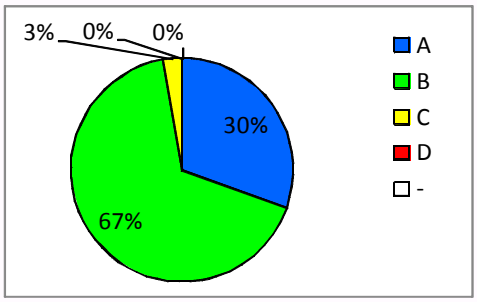
【授業の基本技術】



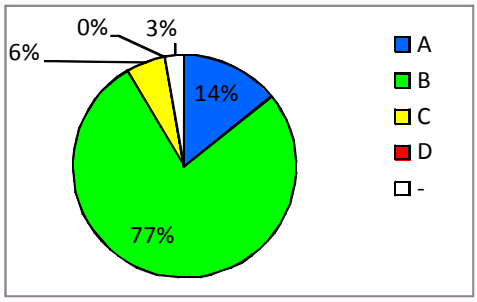


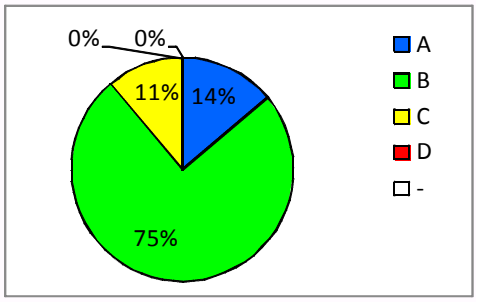
【わかる授業の展開】





【指導に生かす評価】



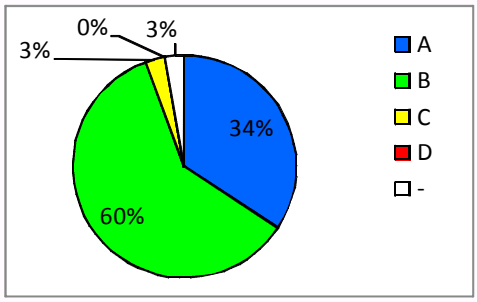


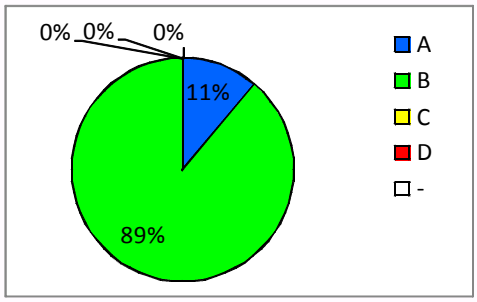
A かなり向上した　B ある程度向上した　C あまり向上していない　D 全く向上していない　－ 無回答

イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。

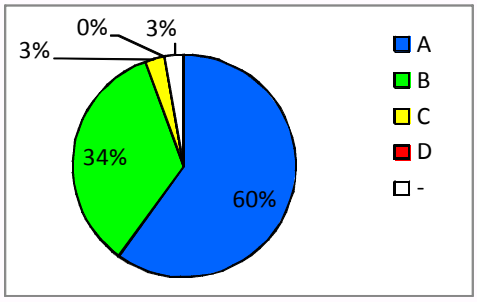
校　長　　研修教員

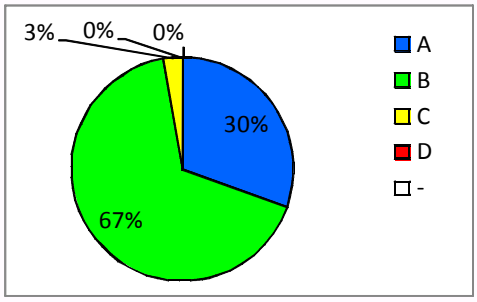
【児童・生徒指導の意義と理念の理解】



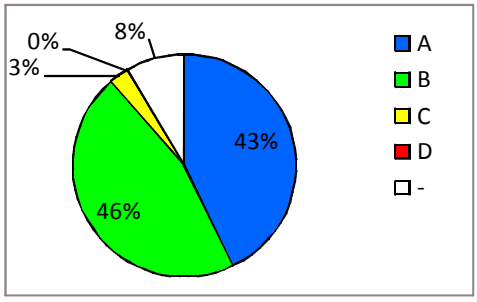


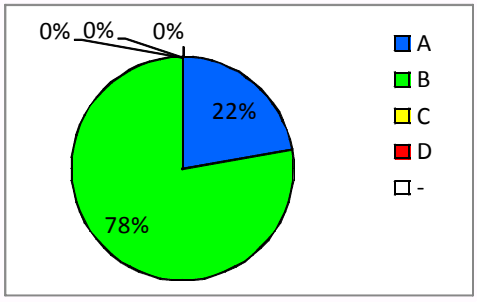
【児童生徒理解】



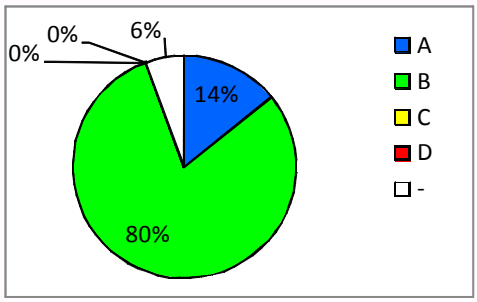


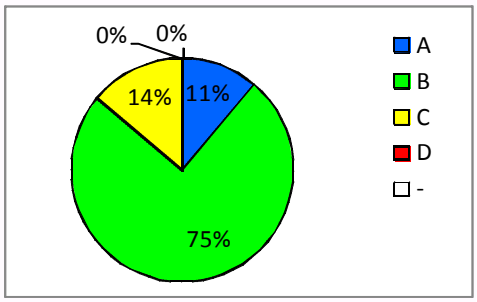
【問題行動等への対応】



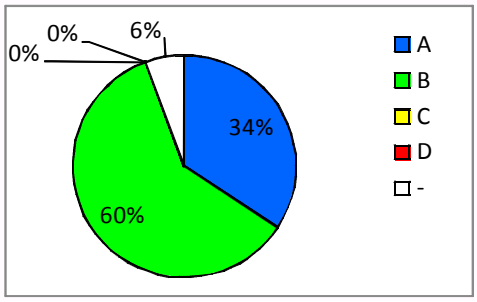


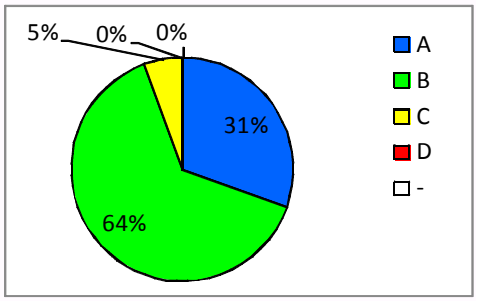
【自己指導能力の向上に向けての指導】





【組織的対応】



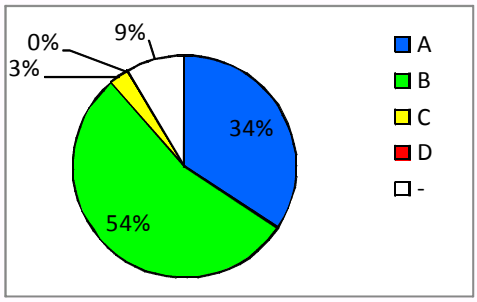


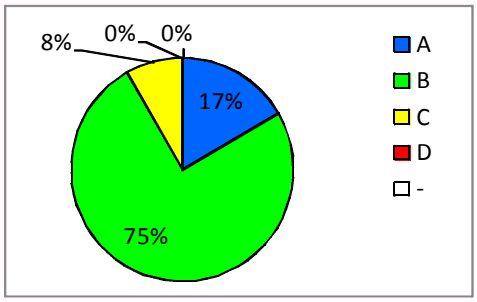
A かなり向上した　B ある程度向上した　C あまり向上していない　D 全く向上していない　－ 無回答

ウ　研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。

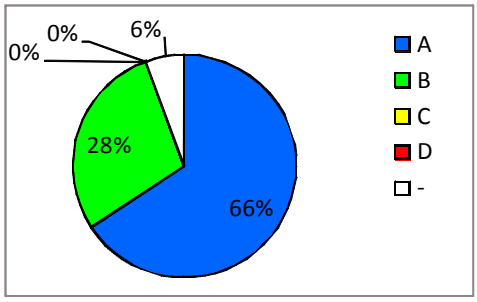
校　長　　研修教員

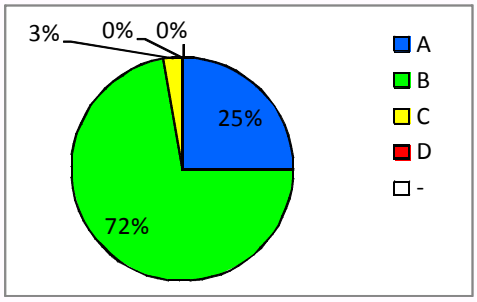
【学級経営目標達成のための取組】



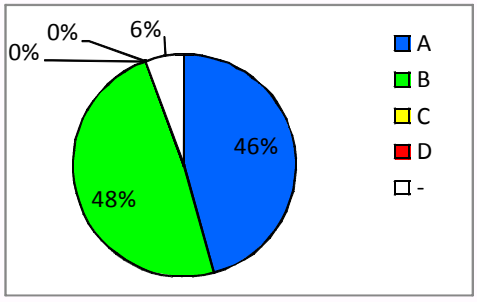


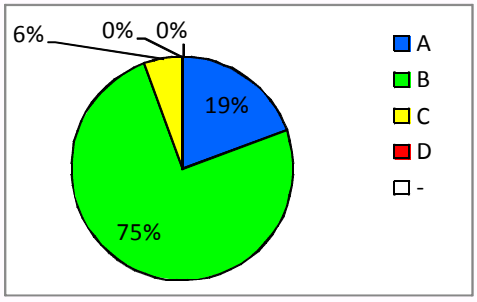
【児童生徒との信頼関係】



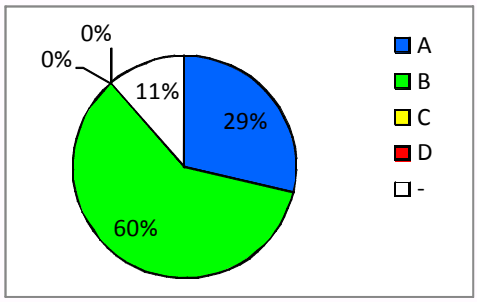


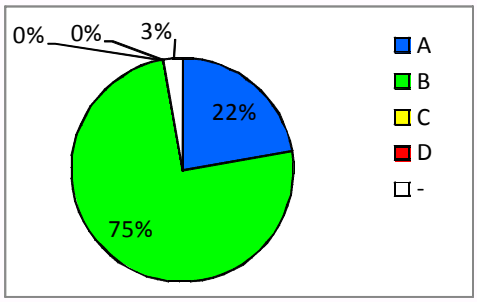
【児童生徒相互の好ましい人間関係づくり】



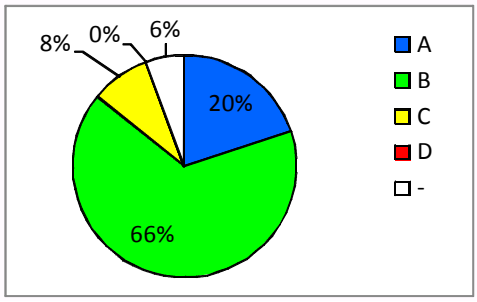


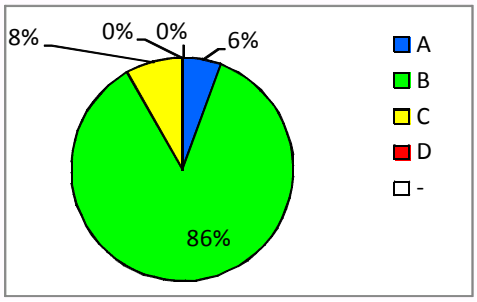
【保護者との連携】





【学級事務や教室環境の整備】





(2) **ア～ウの項目以外のことについて。**（主な記述内容）

校　長

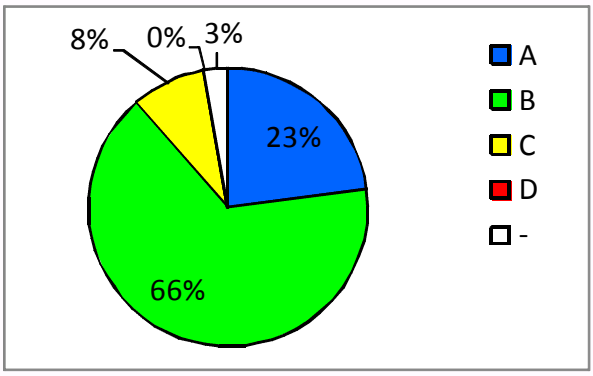
・道徳の時間に様々な工夫がみられる。
・少人数指導担当として全学年の算数指導にあたっている。そのため評価できない項目があるが、算数ＴＴとして研修を生かしている。
・研修前の姿がわからないので、向上したのかどうかわかりません。ただし、本人は、現在特別支援学級担任として、児童ひとり一人にきめ細やかな指導をしてくれています。
・部活指導の意義をしっかりとらえ、情熱的に指導に取り組んでいる。
・組織としての言動、他教師とのコミュニケーションのとり方、学年経営における共通理解事項の指導などについて、研修しているが、あまり向上していない。

研修教員

・異校種体験研修や社会体験研修を生かし、地域社会に視野を広げ、連携を図りながら指導にいかせるようになった。
・道徳教育についての理解が深まり、授業のやり方を改善することができた。
・パワーポイントや電子黒板など情報機器が活用できるようになった。

２　校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

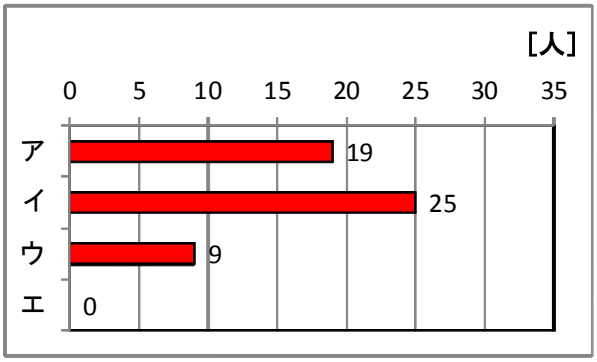
(1) **研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。**【回答者：校　長 】



A　十分に活用した
B　ある程度活用した
C　あまり活用しなかった
D　全く活用しなかった
－　無回答

(2) **活用したことでどんな効果がありましたか。**

【回答者：校　長 】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）《複数回答》



ア　研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ　研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ　研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ　その他

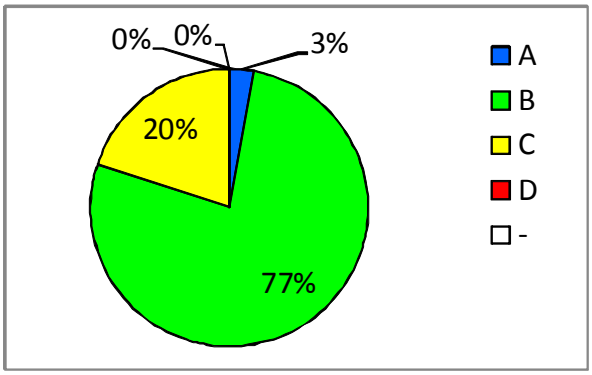
○効果を高めるために特に工夫した点【回答者：校　長 】

（主な記述内容）

・報・連・相と話し合う時間の確保を心掛けた。
・コミュニケーションを図るようにした。
・ＯＪＴを意識し、当該教員に対し臨機に指導・助言することを心がけた。
・教職員評価における行動規準表の具体的目標で、学習指導の課題を明確にし、日々の授業に取り組み成果を上げている。

３－１　教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1)　Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：校　長】



Ａ　かなりあった

Ｂ　ある程度あった

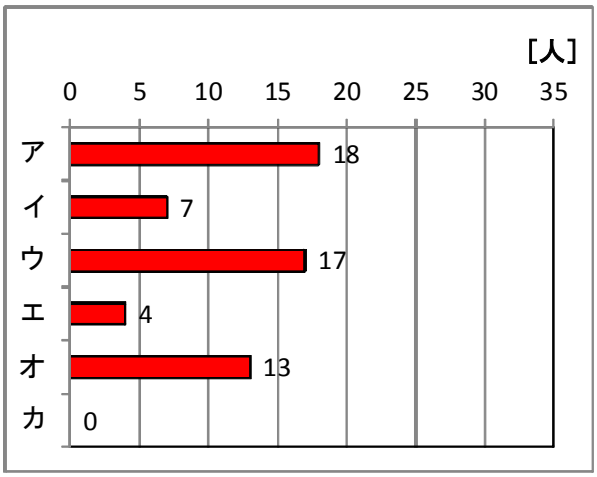
Ｃ　あまりなかった

Ｄ　全くなかった

－　無回答

(2)　どんな効果や影響がありましたか。【回答者：校　長】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）

《複数回答》



ア　研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ　授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ　教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。

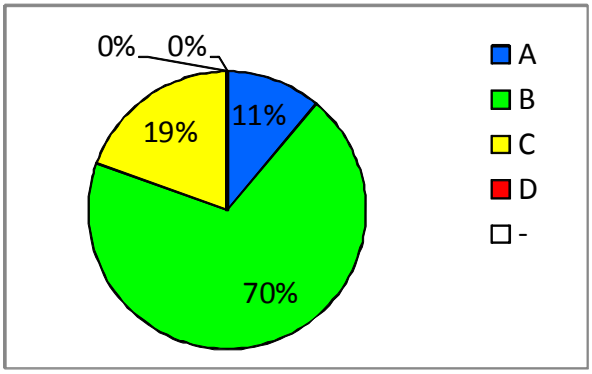
エ　研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ　公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ　その他

３－２　教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

(1)　Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：研修教員】



Ａ　積極的に取り組んでいる

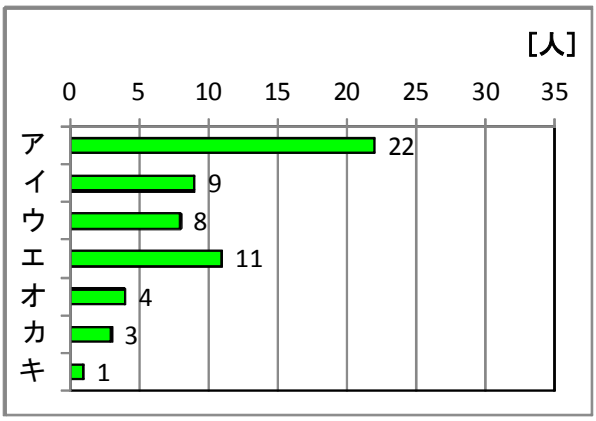
Ｂ　ある程度取り組んでいる

Ｃ　あまり取り組んでいない

Ｄ　全く取り組んでいない

－　無回答

(2) どんな研修に取り組んでいますか。【回答者：研修教員 】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）
《複数回答》

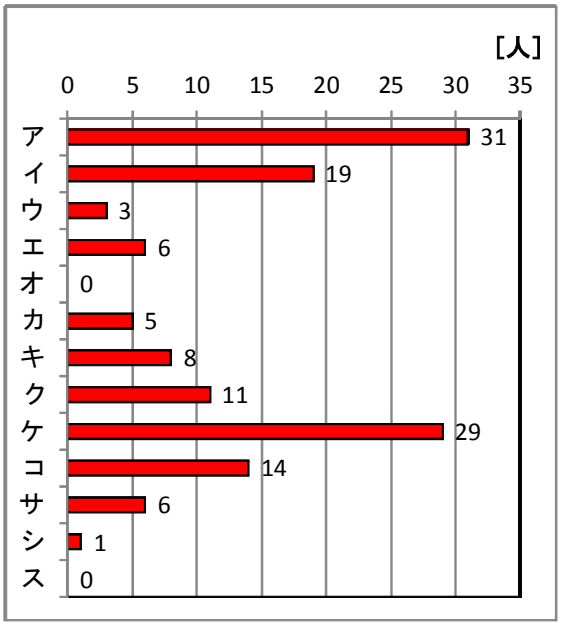


ア　学習指導
イ　児童・生徒指導
ウ　ＨＲ・学級経営
エ　道徳教育
オ　特別活動
カ　特別支援教育
キ　その他

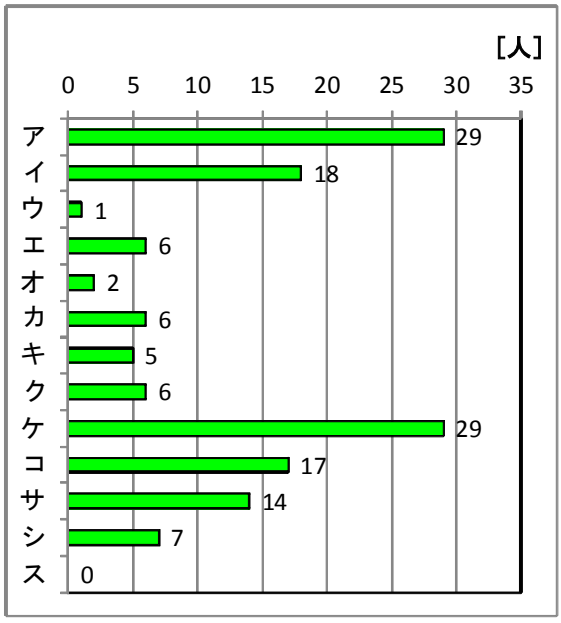
○具体的に、どのように進めていますか。【回答者：研修教員 】
（主な記述内容）
・書籍や、地区の自主研修会への参加などにより、情報を収集している。
・先輩教員からアドバイスを受けたり、話し合ったりしている。
・研修で作成した資料やいただいた資料を活用し、指導にあたっている。
・課題研究の成果や課題をもとに、先行実施を調べるなど、研究を続け授業に生かすようにしている。
・研修で行った教材分析、発問の設定、仕方など、毎時間ノートに記入し、授業を行っている。
・他の先生の実践事例の研究（先輩教師の授業参観、他校の先生との事例研究など）を行っている。
・自分の実践のＶＴＲでの振り返り
・道徳においては、現職教育の一つとして研究授業を実施し、職員全体で授業の進め方、深め方、生徒の変容の促し方など話し合った。
・今年度の行動規準の目標である学習指導の項目が充実・達成できるように日々努力している。

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。《複数回答》

校　長



研修教員



ア　教科（学習）指導に関する研修
イ　児童・生徒指導に関する研修
ウ　学校経営に関する研修
エ　教育相談に関する研修
オ　進路指導に関する研修
カ　情報機器の活用等に関する研修
キ　特別支援教育に関する研修
ク　人権教育に関する研修
ケ　公開授業と授業研究会
コ　課題研究
サ　先輩教員等による授業
シ　管理職等の講話
ス　その他

○特に工夫した点【回答者：校　長】

（主な記述内容）

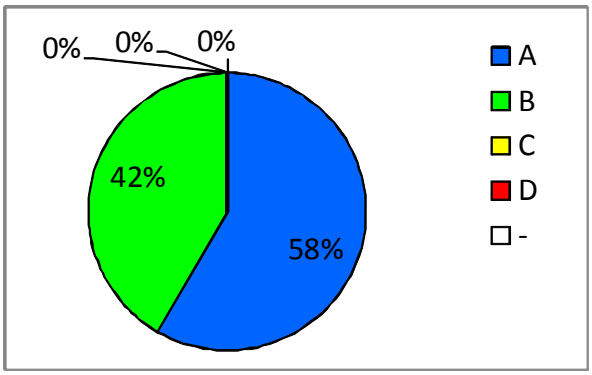
・小中連携による学校種を越えたＴＴ授業を行った。

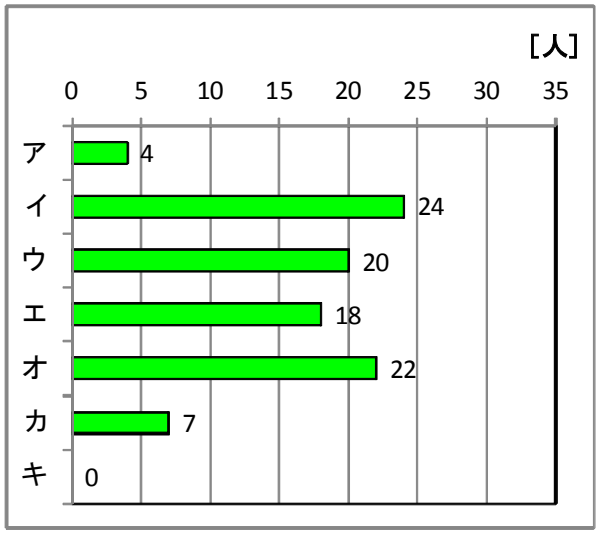
・道徳の時間を学年全員で実施し、全体研修の材料とした。

５－１　総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。【回答者：研修教員】

A かなり役立っている　B ある程度役立っている　C あまり役立っていない　D役立っていない　－ 無回答

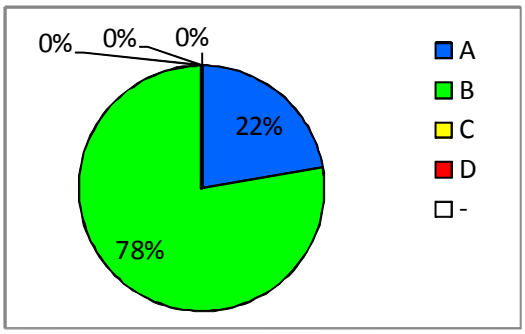
(1) 学習指導に関する研修　《複数回答》

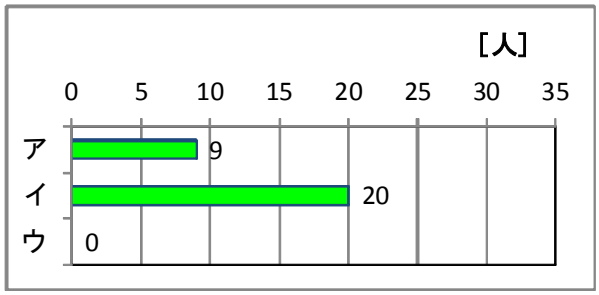




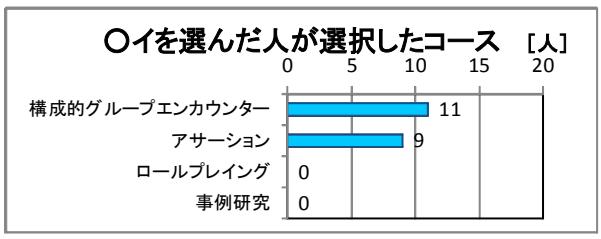
ア　講話「今、求められる学習指導の在り方」
イ　教科別分科会
ウ　公開授業Ａ、授業研究会
エ　ビデオによる授業研究
オ　課題研究
カ　児童・生徒等による授業評価
キ　その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

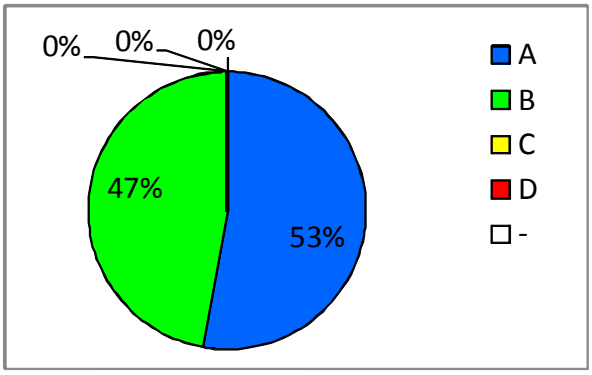




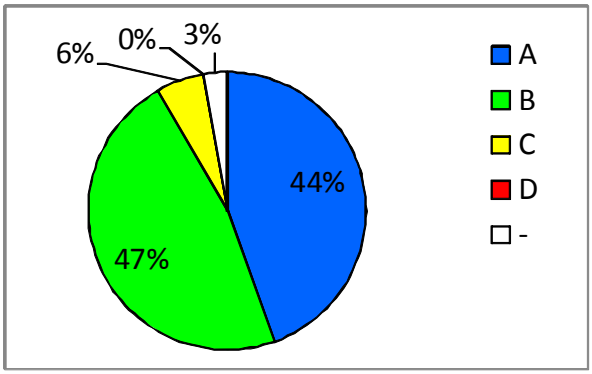
ア　講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ　児童・生徒指導に関する選択研修
ウ　その他



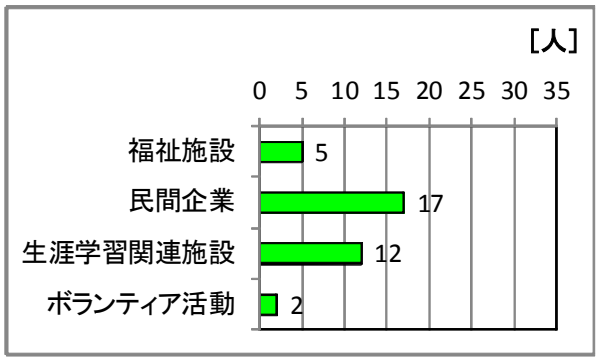
(3)　道徳教育に関する研修



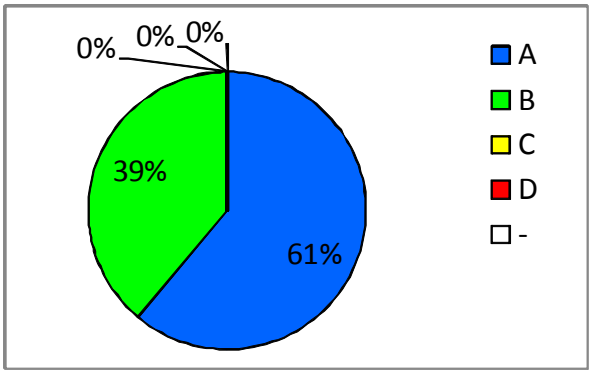
(4)　社会体験等研修



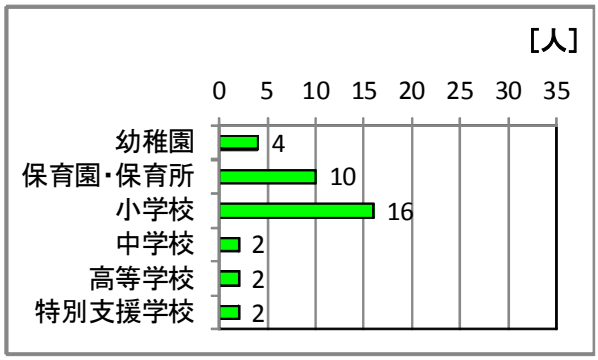
○研修場所



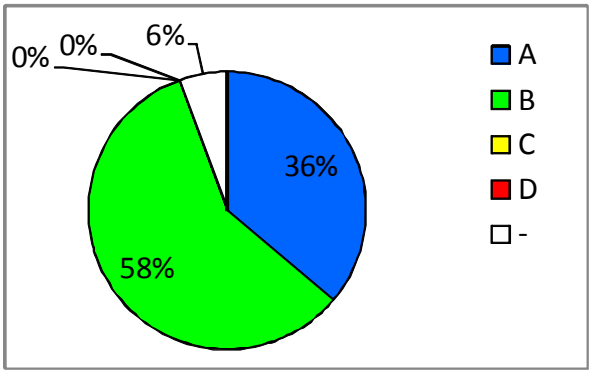
(5)　異校種体験研修



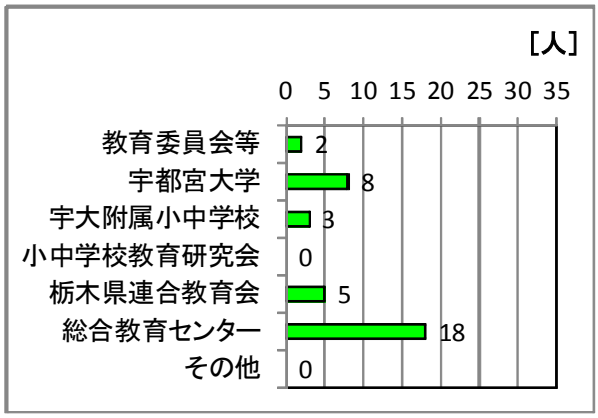
○研修場所



(6)　選択研修



○主催機関



５－２　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等（主な記述内容）

校　長

・特別支援教育の中でも、通常学級における支援を要する生徒への指導を具体的に研修してほしいと願っている。
・多くは若手教員のリーダー的立場になるので、校内におけるその役割について、その方向性を示すような研修も必要かと思う。
・異校種の先生方との交流を希望する声がある。
・初任者研修で行うような「社会人としての心構え」に関する内容があるとよい。
・10年目になり中堅として期待される立場ではあるが、同時に学校勤務に対しても慣れが出てくる。一人の社会人として再確認してもよい。

研修教員

・自分が研究する教科に関わらず、教材を紹介し合う内容についての研修があるとよい。
・教科別分科会では、選択した教科のみの研修であったため、小学校の場合は、他教科とも交流し、資料のみでもよいので取り組みを参考にできるとよい。
・異校種の先生方との意見交換できる場を増やしてほしい。
・模擬授業や発問に関する研修があるとよい。

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート集計結果

○　回答総数　校　長　：４８　（　高等学校　３６　　特別支援学校　１２　）
　　研修教員：７５　（　高等学校　５３　　特別支援学校　２２　）

１　研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

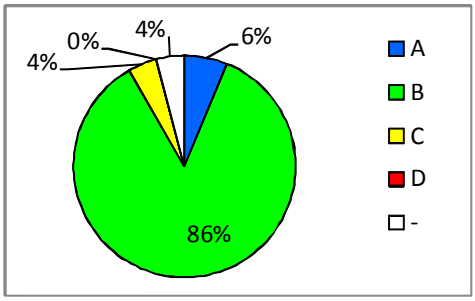
（1）次のア～ウの項目に関する観点ごとに、Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。

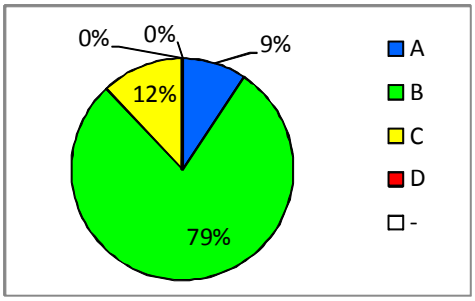
Ａ かなり向上した　Ｂ ある程度向上した　Ｃ あまり向上していない　Ｄ 全く向上していない　－ 無回答

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。

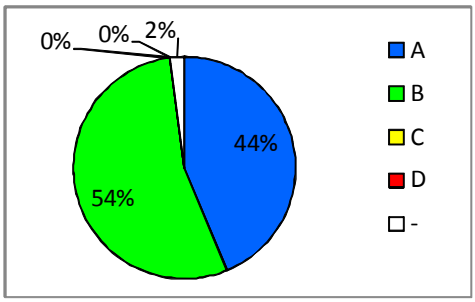
校　長　　研修教員

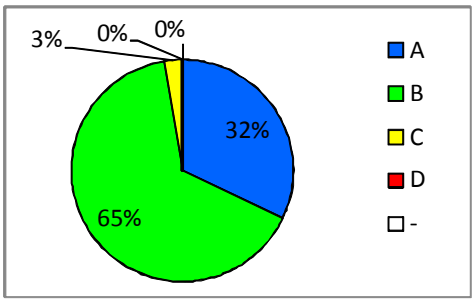
【年間指導計画の立案・実施】



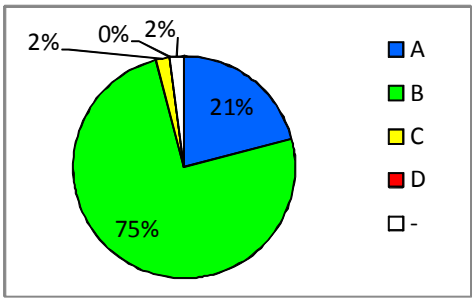


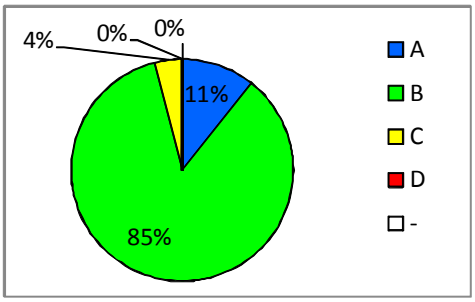
【教材研究】



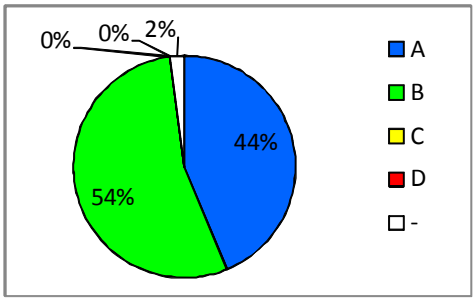


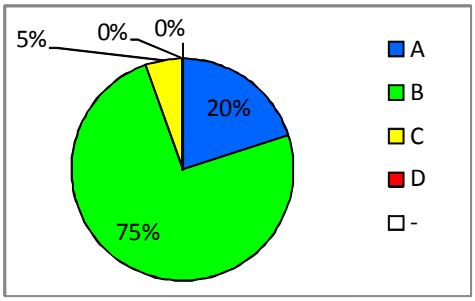
【授業の基本技術】



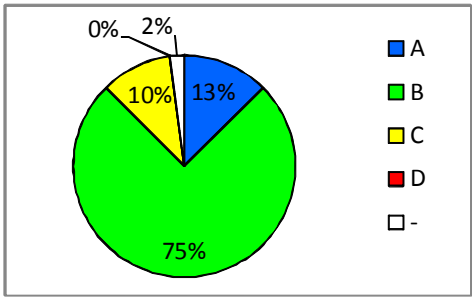


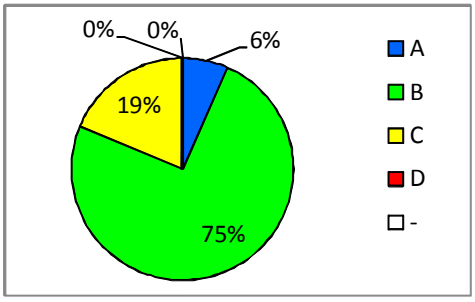
【わかる授業の展開】





【指導に生かす評価】



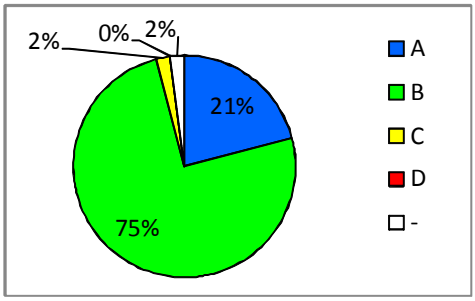


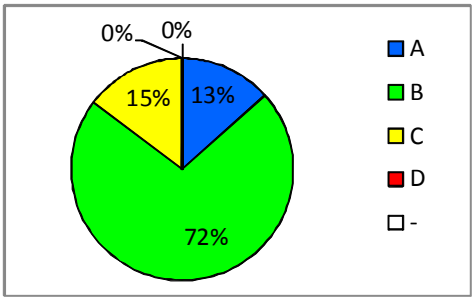
A かなり向上した　B ある程度向上した　C あまり向上していない　D 全く向上していない　－ 無回答

イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。

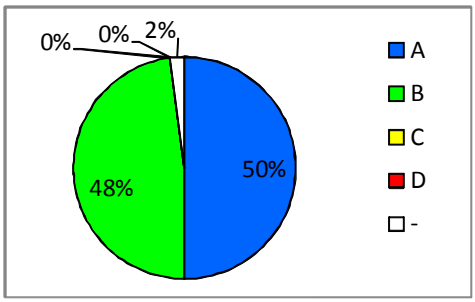
校　長　　研修教員

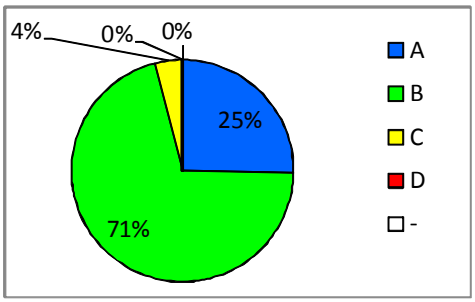
【児童・生徒指導の意義と理念の理解】



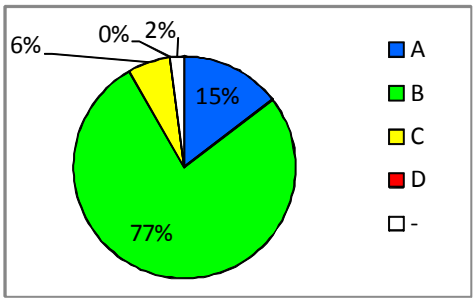


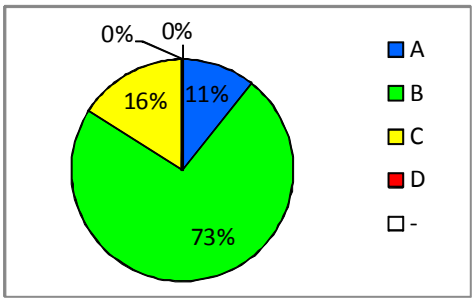
【児童生徒理解】



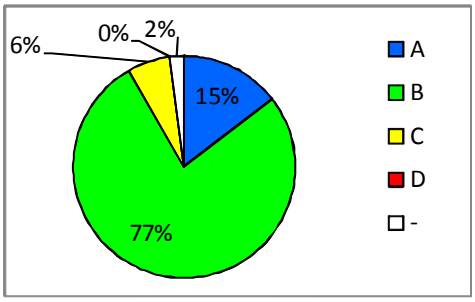


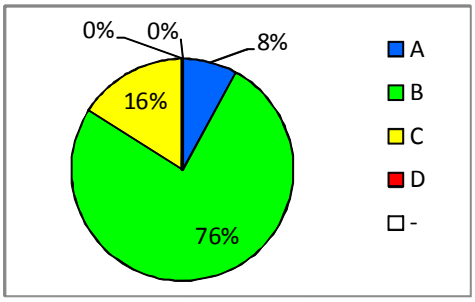
【問題行動等への対応】



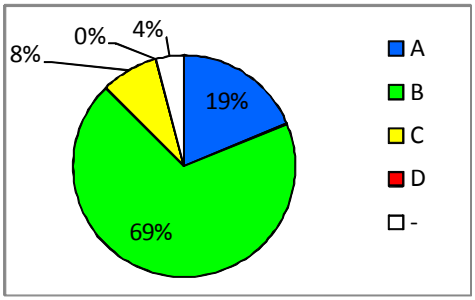


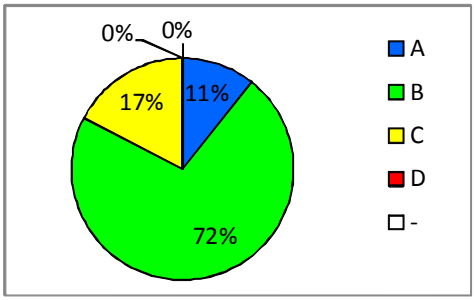
【自己指導能力の向上に向けての指導】





【組織的対応】



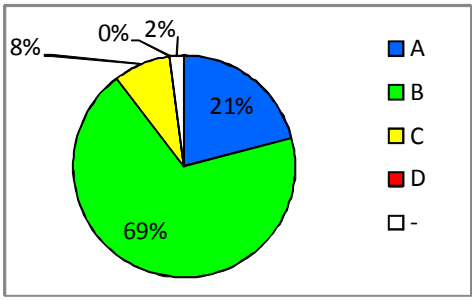


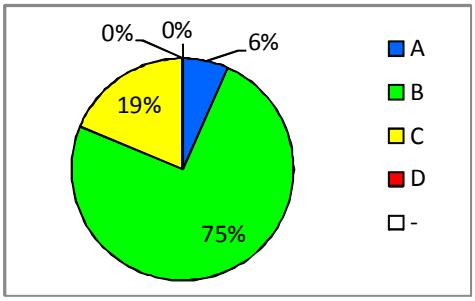
A かなり向上した　B ある程度向上した　C あまり向上していない　D 全く向上していない　－ 無回答

ウ　研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。

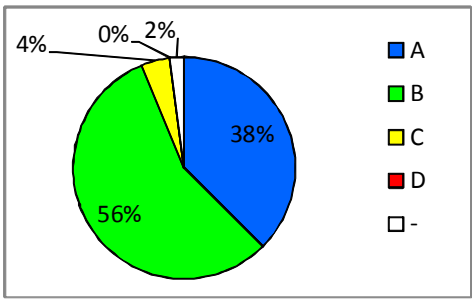
校　長　　研修教員

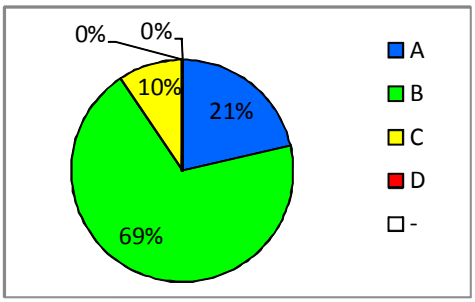
【学級経営目標達成のための取組】



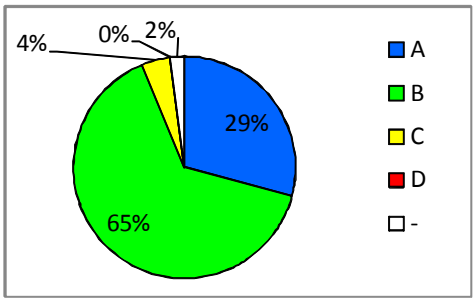


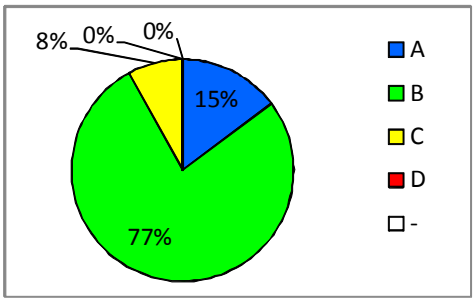
【児童生徒との信頼関係】



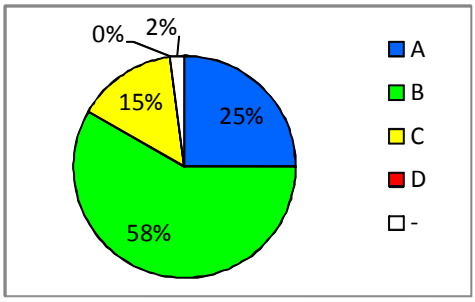


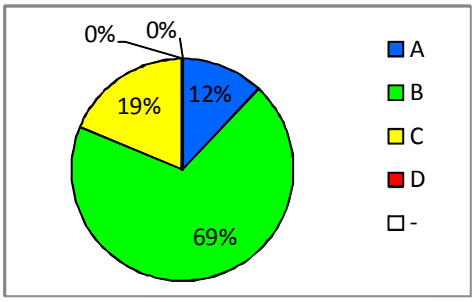
【児童生徒相互の好ましい人間関係づくり】



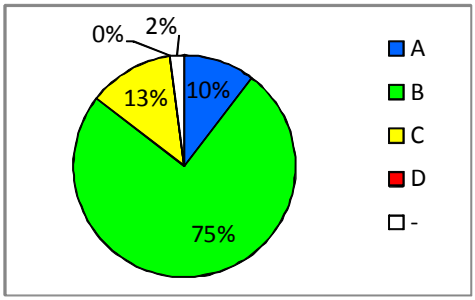


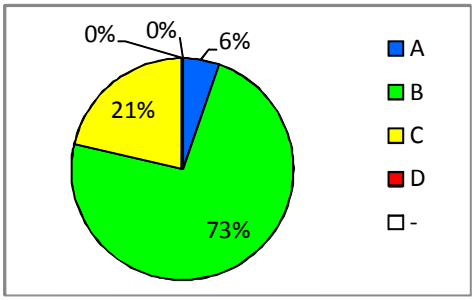
【保護者との連携】





【学級事務や教室環境の整備】





(2) **ア～ウの項目以外のことについて。**（主な記述内容）

校　長

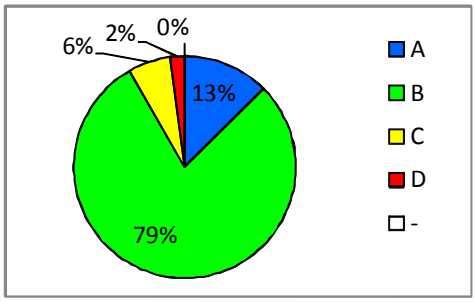
・新採教員の教科指導員として、適切な指導・助言を行うことができた。
・震災復旧を初めとするボランティア活動に生徒を積極的に参加させるなど、部活動においても生徒指導力がかなり向上している。
・本校の「将来構想検討委員会」のメンバーとして、学校運営や経営について学ぶ機会を与えた。
・学校運営に参画しようとする前向きな意欲の高まりが感じられるようになった。

研修教員

・課題研究を通して、教材研究力の向上とともに、教材研究意欲を大きく刺激された。
・進路指導に関する知識が深まった。就労に向けて生徒の実態に応じた進路指導を進めるにあたり、研修で得られた事柄を生かすことができた。
・社会体験、異校種体験等を通し、教員としての視野を広げることができた。
・学校の経営に関わることに参画するようになった。

２　校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

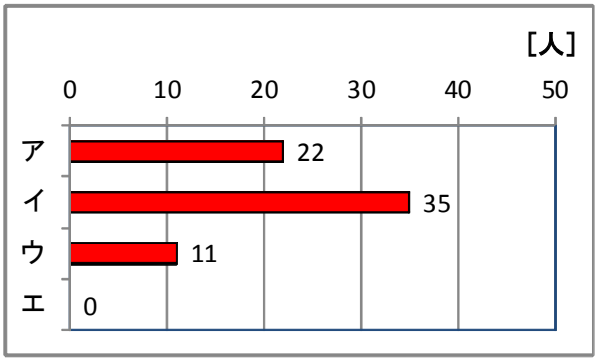
(1) **研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。**【回答者：校　長 】



A　十分に活用した
B　ある程度活用した
C　あまり活用しなかった
D　全く活用しなかった
－　無回答

(2) **活用したことでどんな効果がありましたか。**

【回答者：校　長 】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）《複数回答》



ア　研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。

イ　研修教員の意欲や自覚が高まった。

ウ　研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。

エ　その他

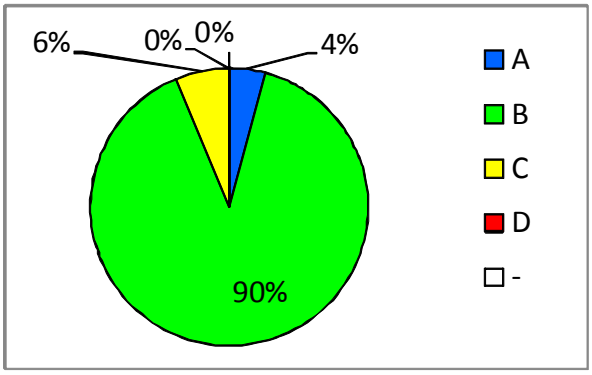
○効果を高めるために特に工夫した点【回答者：校　長 】

（主な記述内容）

・得意な面、苦手な面を整理し、課題の設定を行った。
・当初面談時に活用した。本年度の目標や課題を明確にするとともに、中堅教員としての意識付けを図った。
・担当する校務において質問を持ちかけたり、適切に対応することで積極的に取り組んだ。
・教職員評価制度の行動規準表の作成・実践において、研修後評価結果の活用を図った。

３－１　教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1)　Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：校　長】



Ａ　かなりあった

Ｂ　ある程度あった

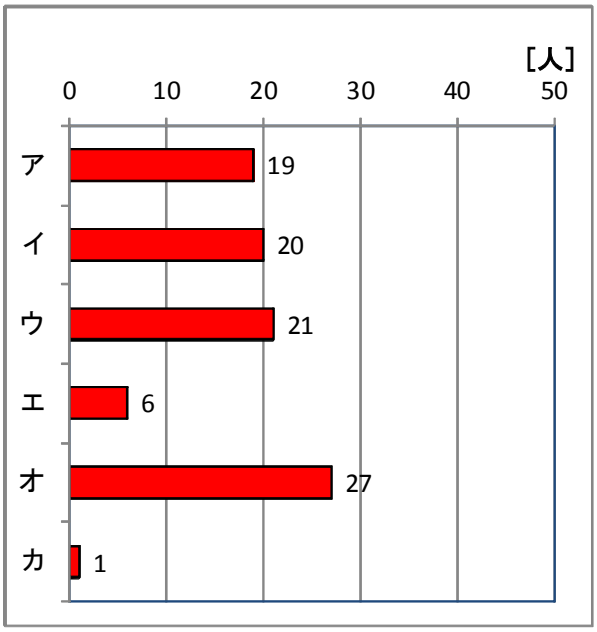
Ｃ　あまりなかった

Ｄ　全くなかった

－　無回答

(2)　どんな効果や影響がありましたか。

【回答者：校　長】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）《複数回答》



ア　研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ　授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ　教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。

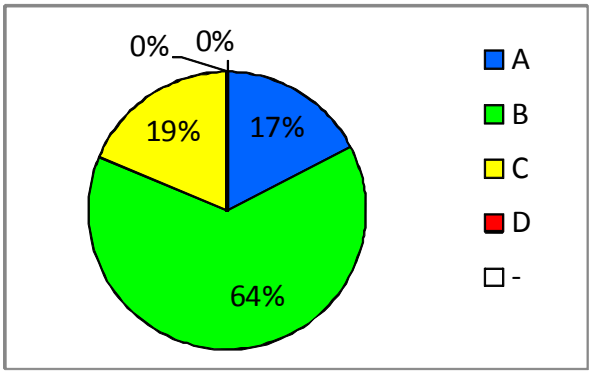
エ　研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ　公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ　その他

３－２　教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

(1)　Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：研修教員】



Ａ　積極的に取り組んでいる

Ｂ　ある程度取り組んでいる

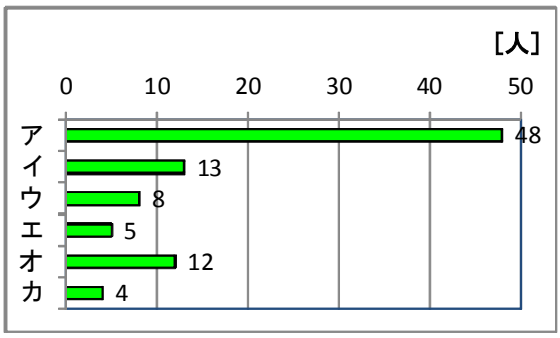
Ｃ　あまり取り組んでいない

Ｄ　全く取り組んでいない

－　無回答

(2) どんな研修に取り組んでいますか。

【回答者：研修教員 】（(1)でＡまたはＢを選んだ方のみ回答。）《複数回答》



ア　学習指導
イ　児童・生徒指導
ウ　ＨＲ・学級経営
エ　特別活動
オ　特別支援教育
カ　その他

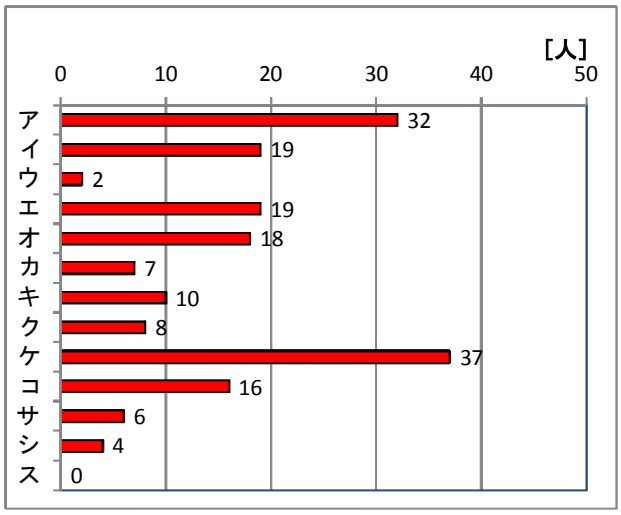
○具体的に、どのように進めていますか。【回答者：研修教員 】

（主な記述内容）

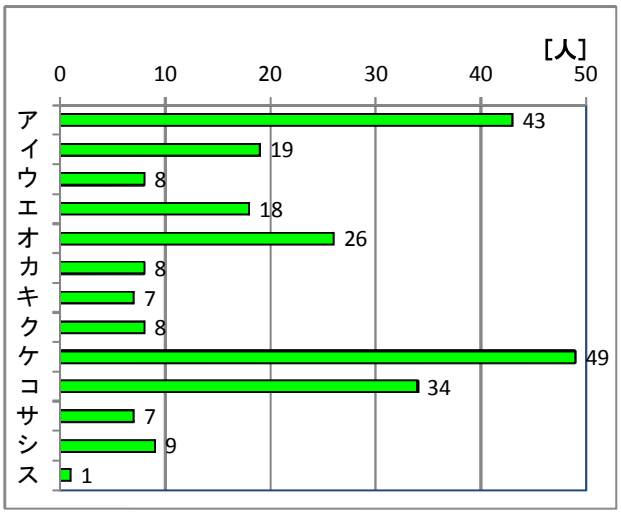
・学習指導については教材研究・評価について、更に実態に合うように研究している。また、生徒指導については服装指導や進路指導を通して、より深く生徒に向き合うようにしている。
・10年目研修で作成したプリント等を、更に改良し授業に生かしている。
・10年目研修の中の課題研究で得られた成果と課題をもとに、今年度検討、改良を加え、授業に取り組んでいる。研修時に指導いただいた先生に、今年度行っている研究内容を報告し、指導助言を仰いでいる。
・より効果的な学習をしたり、児童や保護者の気持ちを理解して関係をつくれたるすることができるように、外部の研修を受けたり、本を読んだりしている。
・地域や民間で実施されている研修会に参加し、新たな知識を得る。その際、様々な観点から情報を得るために、幅広いテーマのものを選択するようにしている。

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。《複数回答》

校　長



研修教員



ア　教科（学習）指導に関する研修
イ　児童・生徒指導に関する研修
ウ　学校経営に関する研修
エ　教育相談に関する研修
オ　進路指導に関する研修
カ　情報機器の活用等に関する研修
キ　特別支援教育に関する研修
ク　人権教育に関する研修
ケ　公開授業と授業研究会
コ　課題研究
サ　先輩教員等による授業
シ　管理職等の講話
ス　その他

○特に工夫した点【回答者：校　長】

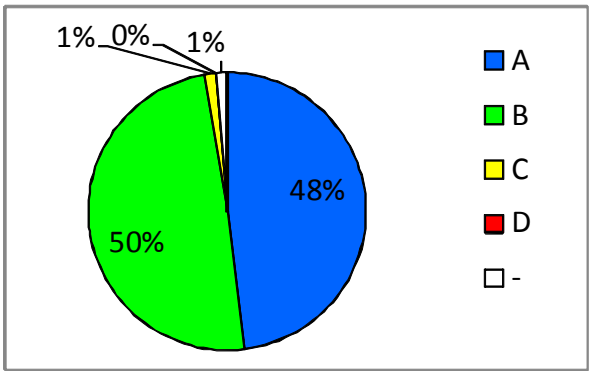
（主な記述内容）

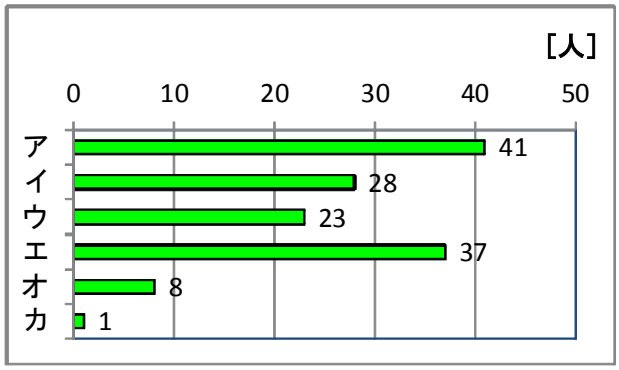
・公開授業や研究授業をできるだけ多くの教員に見学してもらい、学校全体の授業力向上につなげるように努めた。
・管理職による授業観察と教員同士の授業研究を同時に行った。
・児童・生徒指導に関する研修については、事例研究を取り入れ、児童・生徒理解を重点として研修を行った。
・本校生徒の実態把握や地域性の理解のために多くの先輩教員との会話の機会を増やした。
・若手教員（40歳未満）対象の主幹教諭の講話を行った。

５－１　総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。【回答者：研修教員】

A かなり役立っている　B ある程度役立っている　C あまり役立っていない　D役立っていない　－ 無回答

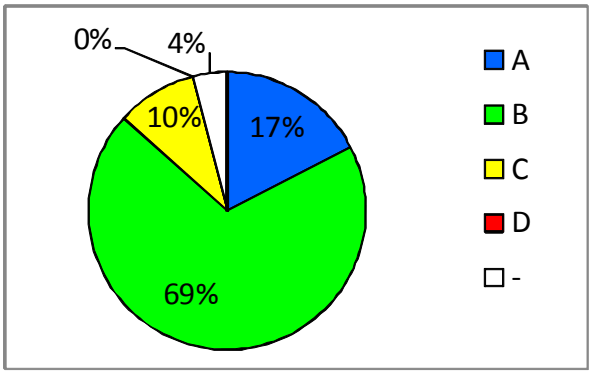
(1) 学習指導に関する研修

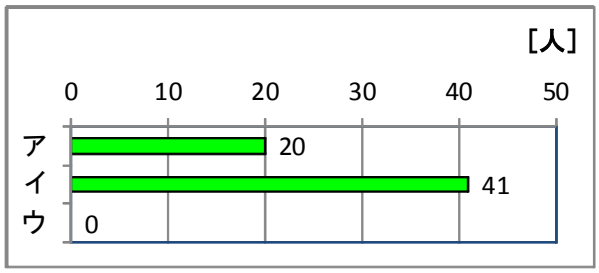




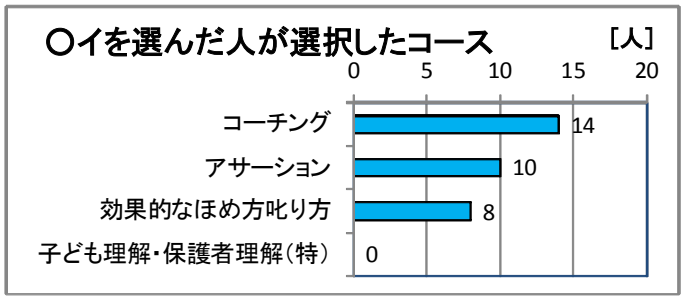
ア　教科別分科会
イ　公開授業Ａ、授業研究会
ウ　ビデオによる授業研究
エ　課題研究
オ　児童・生徒等による授業評価
カ　その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修



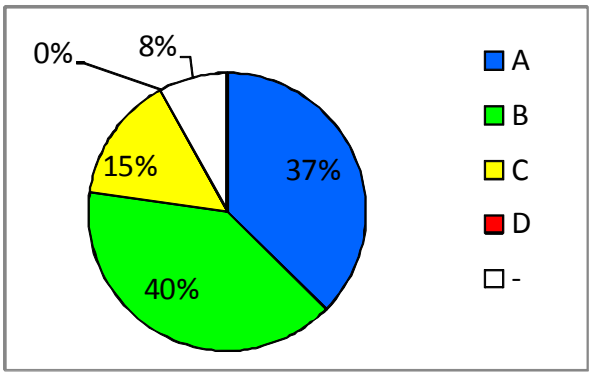


ア　講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ　児童・生徒指導に関する選択研修
ウ　その他

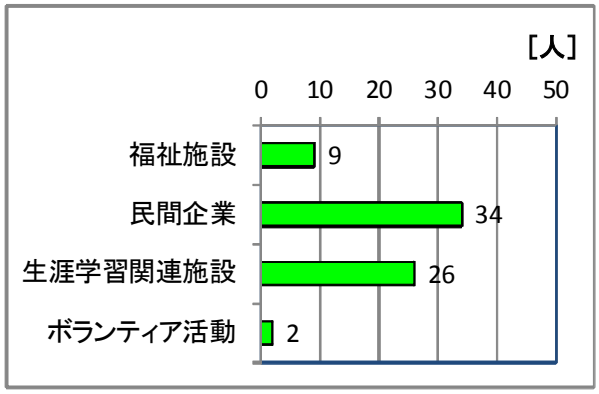


（不明１）

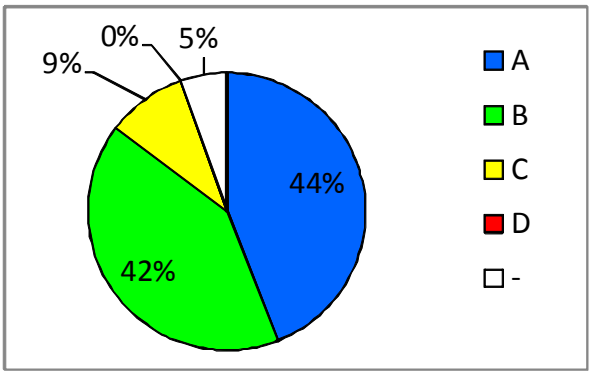
(3)　社会体験等研修



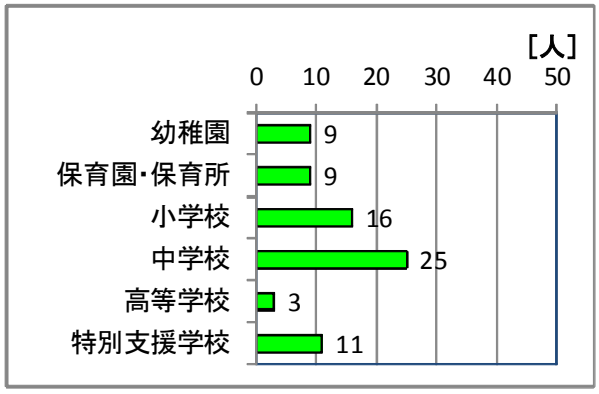
○研修場所



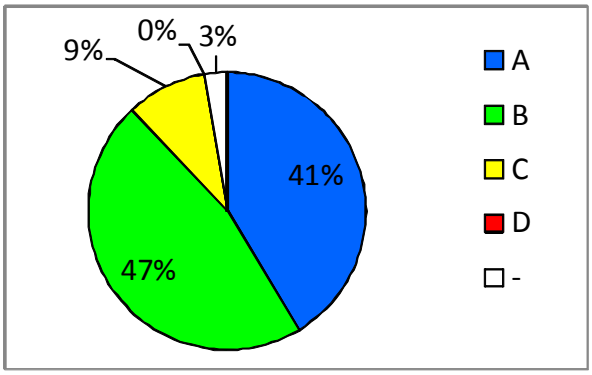
(4)　異校種体験研修



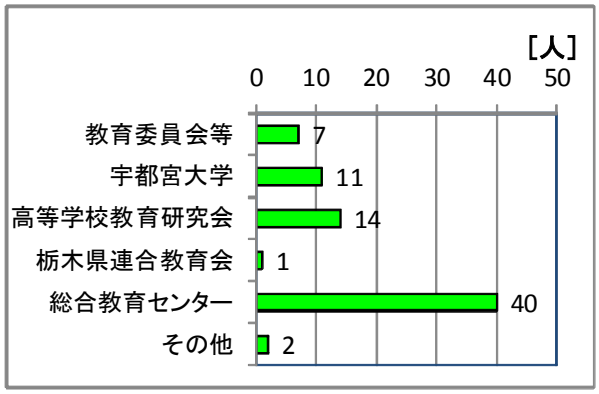
○研修場所



(5)　選択研修



○主催機関



５－２　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等（主な記述内容）

校　長

・“人とのかかわり方”について、アサーショントレーニングなどを含めた教育相談の研修をお願いしたい。特に、保護者対応が必要である。
・学級経営における学級担任等と保護者との連携に関する事例研究があるとよい。
・対応が難しい保護者への対応方法や危機管理についての研修があるとよい。
・保護者との関わり方、被災地応援ボランティア活動などを取り入れてほしい。
・魅力ある授業を展開するための授業のもち方に関する内容や、保護者対応の留意点や方法についての研修があるとよい。
・指導技術や指導法も大切だが、特別支援学校における教科全体にわたる基礎力を向上する研修があるとよい。特に、理科・数学については必要性を感じる。
・別室登校、保健室登校など、特別な支援が必要な生徒への対応に関する内容があるとよい。
・ＳＷＯＴ分析などの手法を用いたワークショップを取り入れ、その成果を校内で生かし、学校運営計画を作成するなど、実践的な内容を望む。
・今年度本校では、センター教育相談部に講師を依頼し、全職員を対象にして、保護者対応に関する研修を行った。大変有効なので、是非初任研を含めて実施して欲しい。
・新しいタイプの学校（中高一貫教育校・科学技術高校等）の授業や施設見学があるとよい。

研修教員

・ロールプレイングを用いた生徒、保護者対策に関する研修を望む。
・保護者との関わり方についての研修があるとよい。
・モンスターペアレントの事例と対応例についての研修があるとよい。
・保護者支援について等。全体的に基本的なことを振り返るというものより、実践的なことを知りたい。
・児童生徒指導に関する研修で、指導の実際（事例研究）や、指導に関する実践的な内容。ＨＲ経営について他校の先生方との協議などがあるとよい。
・教室には入れないなど、特別な指導が必要な生徒への対応に関する研修があるとよい。
・普通校において特別な支援が必要と思われる生徒への対応及び効果的な授業についての研修があるとよい。
・カウンセリング研修、情報機器研修を望む。
・学校の危機管理の在り方（組織的対応）等に関する講話などがあるとよい。
・メンタルヘルスに関する研修を望む。
・せっかく多くの先生がいろいろな事業所などで社会体験、異校種体験をされているので、その成果や状況を知る機会があると、更に充実した研修になると感じた。
・教科指導や生徒指導など幅広く他県の教員と意見交換会ができるとよい。

資　料

様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート

□　該当する校種を○で囲んでください。　（　小学校　・　中学校　）
□　平成23年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の１から５の質問にお答えください。

1　研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　かなり向上した　　B　ある程度向上した
C　あまり向上していない　　D　全く向上していない

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		
観点	・年間指導計画の立案・実施	（ A　B　C　D ）
	・教材研究	（ A　B　C　D ）
	・授業の基本技術	（ A　B　C　D ）
	・わかる授業の展開	（ A　B　C　D ）
	・指導に生かす評価	（ A　B　C　D ）
イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		
観点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒理解	（ A　B　C　D ）
	・問題行動等への対応	（ A　B　C　D ）
	・自己指導能力の向上に向けての指導	（ A　B　C　D ）
	・組織的対応	（ A　B　C　D ）
ウ　研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。		
観点	・学級経営目標達成のための取組	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒との信頼関係	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	（ A　B　C　D ）
	・保護者との連携	（ A　B　C　D ）
	・学級事務や教室環境の整備	（ A　B　C　D ）

(2) ア～ウの項目以外のことについては、［　　］内にお書きください。

2　校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
（「平成22年度 教職10年目研修の手引」P.6参照）
(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　十分に活用した　　B　ある程度活用した
C　あまり活用しなかった　　D　全く活用しなかった
(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
活用したことでどんな効果がありましたか。以下の**ア**～**エ**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、［　　］内にお書きください。
ア　研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ　研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ　研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ　その他（　　）

3　教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

A　かなりあった　　B　ある程度あった

C　あまりなかった　　D　全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下の**ア～カ**の当てはまるものすべてを○を囲んでください。

ア　研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ　授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ　教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。

エ　研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ　公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ　その他（　　）

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下の**ア～ス**の当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば［　　］内に具体的にお書きください。

ア　教科（学習）指導に関する研修　　**イ**　児童・生徒指導に関する研修

ウ　学校経営に関する研修　　**エ**　教育相談に関する研修

オ　進路指導に関する研修　　**カ**　情報機器の活用等に関する研修

キ　特別支援教育に関する研修　　**ク**　人権教育に関する研修

ケ　公開授業と授業研究会　　**コ**　課題研究

サ　先輩教員等による授業　　**シ**　管理職等の講話

ス　その他（　　）

5　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば［　　］内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、市町教育委員会へ送付してください。

様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート

□　該当する校種を○で囲んでください。　（　小学校　・　中学校　）
□　平成23年10月までの御自身の実践状況等をとらえて、次の１から５の質問にお答えください。

1　研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　かなり向上した　　B　ある程度向上した
C　あまり向上していない　　D　全く向上していない

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		
観点	・年間指導計画の立案・実施	（ A　B　C　D ）
	・教材研究	（ A　B　C　D ）
	・授業の基本技術	（ A　B　C　D ）
	・わかる授業の展開	（ A　B　C　D ）
	・指導に生かす評価	（ A　B　C　D ）
イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		
観点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒理解	（ A　B　C　D ）
	・問題行動等への対応	（ A　B　C　D ）
	・自己指導能力の向上に向けての指導	（ A　B　C　D ）
	・組織的対応	（ A　B　C　D ）
ウ　研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。		
観点	・学級経営目標達成のための取組	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒との信頼関係	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	（ A　B　C　D ）
	・保護者との連携	（ A　B　C　D ）
	・学級事務や教室環境の整備	（ A　B　C　D ）

(2) ア～ウの項目以外のことについては、［　　］内にお書きください。

2　教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。
(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　積極的に取り組んでいる　　B　ある程度取り組んでいる
C　あまり取り組んでいない　　D　全く取り組んでいない
(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
どんな研修に取り組んでいますか。以下の**ア**～**キ**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。
なお、どのように進めているのか［　　］内に具体的にお書きください。
ア　学習指導　　**イ**　児童・生徒指導　　**ウ**　学級経営　　**エ**　道徳教育　　**オ**　特別活動
カ　特別支援教育　　**キ**　その他（　　）

3　総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(6)の項目について、Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを○で囲んでください。

Ａ　かなり役立っている　　Ｂ　ある程度役立っている
Ｃ　あまり役立っていない　　Ｄ　役立っていない

(1) 学習指導に関する研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
ア　講話「今、求められる学習指導の在り方」　**イ**　教科別分科会
ウ　公開授業Ａ、授業研究会　**エ**　ビデオによる授業研究
オ　課題研究　**カ**　児童・生徒等による授業評価
キ　その他（　　）

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
ア　講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ　児童・生徒指導に関する選択研修
イを選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。
□ 構成的グループエンカウンター　□ アサーショントレーニング
□ ロールプレイング　□ 事例研究
ウ　その他（　　）

(3)　道徳教育に関する研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）

(4)　社会体験等研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
研修場所の□にチェックを付けてください。
□ 福祉施設　□ 民間企業　□ 生涯学習関連施設　□ ボランティア活動

(5)　異校種体験研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
研修先校種の□にチェックを付けてください。
□ 幼稚園　□ 保育所・保育園　□ 小学校　□ 中学校　□ 高等学校　□特別支援学校

(6)　選択研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
主催機関等の□にチェックを付けてください。
□ 教育委員会等　□ 宇都宮大学　□ 宇都宮大附属小・中学校
□ 小・中学校教育研究会　□ 栃木県連合教育会　□ 総合教育センター　□ その他

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下の**ア**～**ス**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。

ア　教科（学習）指導に関する研修　**イ**　児童・生徒指導に関する研修
ウ　学校経営に関する研修　**エ**　教育相談に関する研修
オ　進路指導に関する研修　**カ**　情報機器の活用等に関する研修
キ　特別支援教育に関する研修　**ク**　人権教育に関する研修
ケ　公開授業と授業研究会　**コ**　課題研究
サ　先輩教員等による授業　**シ**　管理職等の講話
ス　その他（　　）

5　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば［　　］内にお書きください。

［　　］

ご協力ありがとうございました。１１月４日（金）までに校長に提出してください。

様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート

□　該当する校種を○で囲んでください。　（　高等学校　・　特別支援学校　）
□　平成23年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の１から５の質問にお答えください。

1　研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　かなり向上した　　B　ある程度向上した
C　あまり向上していない　　D　全く向上していない

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		
観点	・年間指導計画の立案・実施	（ A　B　C　D ）
	・教材研究	（ A　B　C　D ）
	・授業の基本技術	（ A　B　C　D ）
	・わかる授業の展開	（ A　B　C　D ）
	・指導に生かす評価	（ A　B　C　D ）
イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		
観点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒理解	（ A　B　C　D ）
	・問題行動等への対応	（ A　B　C　D ）
	・自己指導能力の向上に向けての指導	（ A　B　C　D ）
	・組織的対応	（ A　B　C　D ）
ウ　研修成果を生かし、ＨＲ・学級経営力が向上しましたか。		
観点	・ＨＲ・学級経営目標達成のための取組	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒との信頼関係	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	（ A　B　C　D ）
	・保護者との連携	（ A　B　C　D ）
	・ＨＲ・学級事務や教室環境の整備	（ A　B　C　D ）

(2) ア～ウの項目以外のことについては、［　　］内にお書きください。

2　校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
（「平成22年度 教職10年目研修の手引」P.7参照）
(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
A　十分に活用した　　B　ある程度活用した
C　あまり活用しなかった　　D　全く活用しなかった
(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
活用したことでどんな効果がありましたか。以下の**ア**～**エ**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、［　　］内にお書きください。
ア　研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ　研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ　研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ　その他（　　）

3　教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

A　かなりあった　　B　ある程度あった

C　あまりなかった　　D　全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下の**ア～カ**の当てはまるものすべてを○を囲んでください。

ア　研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ　授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ　教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。

エ　研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ　公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ　その他（　　）

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下の**ア～ス**の当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば［　　］内に具体的にお書きください。

ア　教科（学習）指導に関する研修　　**イ**　児童・生徒指導に関する研修

ウ　学校経営に関する研修　　**エ**　教育相談に関する研修

オ　進路指導に関する研修　　**カ**　情報機器の活用等に関する研修

キ　特別支援教育に関する研修　　**ク**　人権教育に関する研修

ケ　公開授業と授業研究会　　**コ**　課題研究

サ　先輩教員等による授業　　**シ**　管理職等の講話

ス　その他（　　）

5　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば［　　］内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センターへ送付してください。

様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート

□　該当する校種を○で囲んでください。　（　高等学校　・　特別支援学校　）
□　平成23年10月までの御自身の実践状況等をとらえて、次の１から５の質問にお答えください。

1　研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。
Ａ　かなり向上した　　Ｂ　ある程度向上した
Ｃ　あまり向上していない　　Ｄ　全く向上していない

ア　研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		
観点	・年間指導計画の立案・実施	（ A　B　C　D ）
	・教材研究	（ A　B　C　D ）
	・授業の基本技術	（ A　B　C　D ）
	・わかる授業の展開	（ A　B　C　D ）
	・指導に生かす評価	（ A　B　C　D ）
イ　研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		
観点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒理解	（ A　B　C　D ）
	・問題行動等への対応	（ A　B　C　D ）
	・自己指導能力の向上に向けての指導	（ A　B　C　D ）
	・組織的対応	（ A　B　C　D ）
ウ　研修成果を生かし、ＨＲ・学級経営力が向上しましたか。		
観点	・ＨＲ・学級経営目標達成のための取組	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒との信頼関係	（ A　B　C　D ）
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	（ A　B　C　D ）
	・保護者との連携	（ A　B　C　D ）
	・ＨＲ・学級事務や教室環境の整備	（ A　B　C　D ）

(2) ア～ウの項目以外のことについては、［　　］内にお書きください。

2　教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。
(1) Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。
Ａ　積極的に取り組んでいる　　Ｂ　ある程度取り組んでいる
Ｃ　あまり取り組んでいない　　Ｄ　全く取り組んでいない
(2) (1)でＡまたはＢを選んだ方は、次のことにお答えください。
どんな研修に取り組んでいますか。以下の**ア**～**キ**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。
なお、どのように進めているのか［　　］内に具体的にお書きください。
ア　学習指導　　**イ**　児童・生徒指導　　**ウ**　ＨＲ・学級経営　　**エ**　特別活動
オ　特別支援教育　　**カ**　その他（　　）

3　総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(5)の項目について、Ａ～Ｄの当てはまるものを○で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを○で囲んでください。

Ａ　かなり役立っている　　Ｂ　ある程度役立っている
Ｃ　あまり役立っていない　　Ｄ　役立っていない

(1) 学習指導に関する研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
ア　教科別分科会　**イ**　公開授業Ａ、授業研究会　**ウ**　ビデオによる授業研究
エ　課題研究　**オ**　児童・生徒等による授業評価
カ　その他（　　）

(2) 児童・生徒指導、ＨＲ・学級経営に関する研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
ア　講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ　児童・生徒指導に関する選択研修
イを選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。
□ コーチング　□ アサーショントレーニング
□ 効果的なほめ方、しかり方　□ 特別支援学校における、子ども理解・保護者理解
ウ　その他（　　）

(3) 社会体験等研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
研修場所の□にチェックを付けてください。
□ 福祉施設　□ 民間企業　□ 生涯学習関連施設　□ ボランティア活動

(4) 異校種体験研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
研修先校種の□にチェックを付けてください。
□ 幼稚園　□ 保育所・保育園　□ 小学校　□ 中学校　□ 高等学校　□特別支援学校

(5) 選択研修　（ Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ ）
主催機関等の□にチェックを付けてください。
□ 教育委員会等　□ 宇都宮大学　□ 高等学校教育研究会
□ 栃木県連合教育会　□ 総合教育センター　□ その他

4　平成22年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下の**ア～ス**の当てはまるものすべてを○で囲んでください。

ア　教科（学習）指導に関する研修　**イ**　児童・生徒指導に関する研修
ウ　学校経営に関する研修　**エ**　教育相談に関する研修
オ　進路指導に関する研修　**カ**　情報機器の活用等に関する研修
キ　特別支援教育に関する研修　**ク**　人権教育に関する研修
ケ　公開授業と授業研究会　**コ**　課題研究
サ　先輩教員等による授業　**シ**　管理職等の講話
ス　その他（　　）

5　本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば［　　］内にお書きください。

［　　］

ご協力ありがとうございました。１１月４日（金）までに校長に提出してください。